

『我が故里、深川』

株式会社ホクシン代表取締役社長 名見耶 睦夫(なごや・むつお)

略歴:1941年5月札幌市生まれ。1986年1月株式会社ホクシン入社、1998年8月代表取締役就任。



弊社の所在する深川市は、石狩平野の最北部に位置し、人口2万4千人、面積52,923ヘクタールの典型的な地方都市である。母なる石狩川の恵みを活かすため、肥沃な大地に開拓の斧を入れて100有余年。先人の偉業は豊かに実を結び、緑あふれる理想の地が形づくられた。そして、永きにわたる農業従事者の絶え間ない努力により、水稻や雑穀、野菜、花き等の農産物生産は、量・質ともに多方面から高い評価を得るまでに至っており、農業産出額をみても、水稻が全国第3位、ソバが全国第2位、胡瓜が全道第1位の実績を誇っている。その農産物の宝庫深川で昭和20年11月に産声を上げた弊社には、創業以来暖房機器商品を主力に製造・販売してきた歴史がある。

戦後の家庭用燃料が石炭から石油・天然ガス・電気へと大きな変化を経験し、さらに経済の高度成長に合わせて暖房機器の多様化および高品質化の中で、現在の主力製造・販売商品の電気温水器に辿りついた。

電気温水器の製造・販売開始後約7年弱の歳月が流れた。昨今、国内の社会情勢は環境に優しい商品が主流になっており、家庭用機器においても環境対応商品の需要が増加している。

電気温水器の市場においては、すでに大手製造業者は二酸化炭素削減を目的としたヒートポンプ方式のエコキュートに製造・販売の主力を移行している。弊社としてもこの需要動向を捉えて、高効率の給湯商品開発に取り組む必要があると考えている。ただし、大手製造業者のように短期間での商品開発は、弊社のような中小企業では厳しいのが実態である。

社会情勢は、環境対応商品が需要増加傾向になると予想しているが、現在製造・販売している電気温水器は、シンプルな構造が故に価格の優位性があり、操作も簡単のため流通業者および顧客からのニーズもいただいている。この流通業者および顧客ニーズを重視し、さらに中小企業の立場を生かした隙間産業に成り得るように、今後も製造を継続したいと考えている。

長年にわたる電気温水器製造事業で人材が育ち、技術の習得が出来た。今後も更なる低コスト化を図りながら、小口注文への迅速な対応を進めるなど、製造体制の強化に引き続き取り組んでいく考えである。

製造業者は、商品開発において取得した人材育成と技術の積み上げが会社の宝となる。電気温水器開発・製造で取得した薄板ステンレス鋼版の溶接技術と電気用品組立工程の技術を今後の会社運営の糧としたい。

主力産業が農業である「我が故里、深川」にあって、会社設立以来従業員と地域の方々の温かい支援により会社が存続していることに深く感謝している。